

かたの瓦版

この時、交野は動いた

=元号でたどる交野=

元号とは、天皇が替わると新たになるものであり、その天皇の在位中は変わらないという認識が一般的でしょう。

しかし、これは明治以降の比較的新しい習慣で、それ以前は、一人の天皇の在位中に複数回、元号が変わるのはよくあることであつた。天皇一代につき、元号ひとつとい

う制度を「^{いっせいちげん}一世一元の制」という。

もちろん明治以前にも新しい天皇が即位することによって改元はあつた。

だが、それ以外の理由で改元されることも多かつた。

例えば、珍しい鳥や亀が見つかったり、国内から金や銅が発見されるといった吉事があると、それを理由に改元されることもあつた。反対に、地震や火事、水害、戦災、疫病の流行などの凶事が起こると、厄払いのために改元されることもあつた。

天皇の代替わりによる改元を「^{だいしじめ}代始改

元」、吉事による改元を「^{しょうずい}祥瑞改元」、凶事

による改元を「^{さいい}災異改元」という。

中国の古典から採られていることは、広く知られている、昭和なら書経の中の一文

「^{ひやくせいしやうめいきやう わ ばんぽう}百姓昭明協和萬邦」から、平成も同じ

く書経の中の一文「^{ちへいてんせい}地平天成」から採られている。

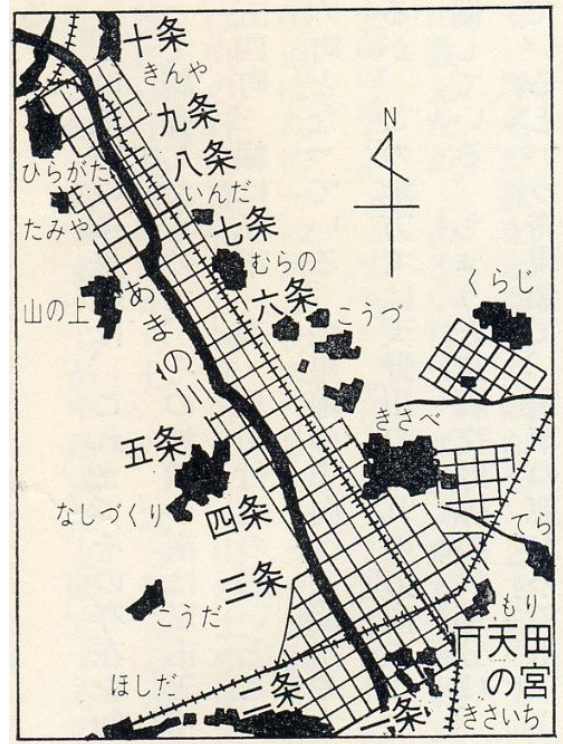
昭和～平成～令和を生きてきた。

これから、どのような理由で改元が繰り返されていくのでしょうか？

大化 645-650 孝徳天皇

★日本で最初の元号朝廷の転機となった「大化の改新」

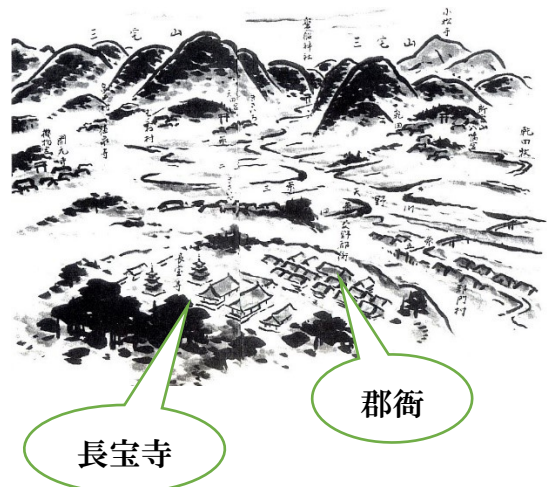
■大化2年(646)大化改新令によって、この地方にも班田収授法施行のため、天野川沿岸付近の田に条里制の区画法おこなわれる。



■郡津に交野郡の郡衙できる。(平尾兵吾著「北河内史蹟史話」)

■交野郡衙推定地に接して長宝寺建立される。

■交野郡衙の門前に発達した集落、郡門村(後の郡津村)の最初ができる。



■星田中川堤から西側、平坦地には条里区画を設けず、ほしだ(乾田)牧を置いて、この一帯朝廷の牧場となる。

白鳳・朱雀 654?-680? 齊明・天智・弘文・天武天皇

★公式の元号がない時代

■白鳳1(672)交野山麓機織集落の長は、その一族とともに、壬申の戦いに大海人皇子に従って戦う(後その功によって交野忌寸の姓を与えられたことから推定)

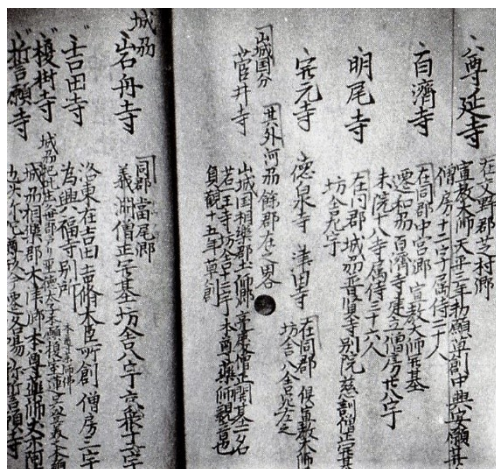


■朱雀1(682)交野山麓機織集落の長は、その一族とともに、壬申の戦いに大海人皇子に従って戦った功により、天武朝12年8等の族姓を定められた時、その第4交野忌寸の姓を与えられる(日本書記)その他による)

天平 729-749 聖武天皇

★混乱のなかでも発展した天平文化

■天平3年(731)交野忌寸の一族によって、神宮寺集落の東南に開元寺を建立する(興福寺官務牒疎・礎石等の出土品による)



興福寺官務牒疎(嘉吉元年 1441)

宝亀 770-781 光仁天皇

★東北で蝦夷との戦乱が勃発

■宝亀2年-7712月光仁天皇車駕交野に幸す(続日本書記)

延暦 782-806 桓武天皇

★京都の名刹「延暦寺」が誕生

■延暦2年10月桓武天皇交野に行幸し、鷹を放って遊獵する(続日本書記)

■延暦4年11月桓武天皇交野柏原の野に天神を祀る(続日本書記)

■延暦6年10月桓武天皇交野に行幸、遊獵す(続日本書記)

■延暦10-21年 桓武天皇交野に行幸し、鷹を放ち遊獵す。



かたの郷土史かるた

弘仁 810-824 嵯峨天皇・淳和天皇

★「弘仁格式」の制定が始まる

■弘仁3-13嵯峨天皇行幸、遊獵す

天長 824-834 淳和天皇・仁明天皇

★漢字の大家たちが定めた元号

■天長2(825)嵯峨天皇交野に遊獵す

承和 834-848 仁明天皇

★藤原氏の陰謀?「承和の変」

■承和3(836)2月先太上天皇交野に遊獵す

■承和11(844)2月仁明天皇交野に遊獵す

■承和 1 2 (845) 河内高安の清原行光、星田山荒山寺(小松寺)の仏堂建立(「小松寺縁起」)



小松寺遺跡石標



和田賢秀之墓

■**齊衡** 854-857 文徳天皇

★震災で大仏様の頭が崩落

■齊衡 3 (856) 11 月文徳天皇、河内交野が原に北天を祀る

■**貞観** 859-877 清和天皇・陽成天皇

★歴史に残る大噴火と大地震

■貞観 3 (861) 宇佐八幡宮の分霊を石清水に勧進の時の警固観音を森に祀る(「石清水文書」・池田麗一著『須弥寺沿革史』)。

■貞観 1 6 (874) この頃交野地方に遊獵した宮廷人の敬天思想から、天体に関する地名、天田宮、天の川、星田などができて、倉治機物神社には天棚機比売大神、栲機千々比売大神まつられる。



天田宮



天の川



機物神社の七夕祭り

■貞観 1 7 (875) この頃星田妙見山に北辰の影向伝説起こる(小松神社所蔵「妙見影向石略縁起」より推定)



■**昌泰** 898-901 醍醐天皇

★悲運の秀才・菅原道真が失脚

■昌泰 3 (900) この頃獅子窟寺建立、本尊薬師仏造立される(薬師仏の彫刻様式より推定)



薬師如来坐像
(国指定特別重要文化財指定)

■**延喜** 901-923 醍醐天皇

★日本初の「^{しんゆう}幸酉革命」による改元

■延喜元(901)交野郡司守部平麻呂、同広道は朝廷に願って、莊園交野三宅山一帯(倉治、私部、寺、森、私市、星田の山地)の官省符をうける

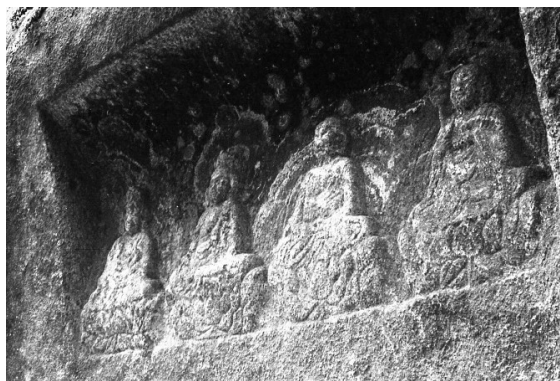


■延喜 7 (907)この頃より天野川沿岸村の氏神は、饒速日命をあらため、住吉四神となる



天の磐船・磐船神社の御神体

「先代旧事本記」は、次のように記す。
饒速日の尊は、天神のご命令で、天の磐船に乗り、河内の国の河上の哮ヶ峰に天下った。
『日本書記』は、神武天皇では、次のように記す。
饒速日の尊は、天の磐船に乗り、大虚を翔けり行き、このくにをみて天下った。



四社明神

■延喜 17 (917)この年河内大和交通路の峡崖越の頂上に三宅山荘園領境として榜示木立てられる（「石清水文書」）



かいがけの道



山桃の木



榜示の里

=了=